



# 私達は「じゅうたく小町」です

住宅現場からのメッセージ

③

全国低層住宅  
労務安全協議会 じゅうたく小町

副 部 会 長

所属 /

積水ハウス(株)

施工技術開発部

建築施工開発グループ



三幣 涼子

こんにちは。今回コラム担当のじゅうたく小町部会、副部会長の三幣です。私からは一現場監督からの「つながり」をお話し致します。

2003年に積水ハウス株式会社の技術職として入社しました。当時は総合職の女性社員はまだ少なく、支店に女性総合職が在籍すること自体まれな状況です。支店としては扱いてもよく分からず、手探り状態で受け入れていたように思います。しかし当の私自身は全く気にしておらず、むしろ男性社員と区別されることがいやで、同期の男性社員にできて、私に出来ないことがあってはならない！その一心でした。

入社後早々に積水ハウスグループ内の施工会社に出向し、基礎、外装、内装職の現場と一緒に作業する研修が始まり、物作りが好きで私は大変楽しく、いきいきと働

かせていただきました。その際親方に「監督に向いてるよ！」という言葉をいただき、考えたこともなかった現場監督に興味を持つきっかけとなりました。その後、設計経験を経て4年後に現場監督

となります。

最初は女性現場監督というものに対し職人さんに斜に構えられていると感じたことはありましたが、現場に通い、職人さんと話し、頼まれたことは早く対応するように心掛け、打ち解けていったと思います。つながりを強くするため、現場にいる時間を増やし、休憩中にたわいもない趣味の話をし、休日にアウトドアで共に遊ぶこともありました。現場監督の仕事は、お客さま対応、施工の検討もありますが、いかに皆さんに気持ちよく良い仕事をしてもらえるかというマネジメント業務でもあります。業者さんや同僚、周囲の方たちのつながりで私は現場監督を続けてこれ

たといます。

また、まだまだ少ない女性の現場監督職を続けてきたことで、じゅうたく小町部会メンバーと会うことができました。普通は同業他社の方と本音で話せるような場は少ないと思いますが、同じような仕事をしている者たちが同じ悩みを共有し、皆も頑張っているから自分も頑張ろうと前向きな気持ちになれるこの会は大変貴重な存在です。休日に一緒に遊びに行ったりリフレッシュもしています。

このように歩みを進めてきたと

## つ な が り



小町メンバーとスノーボード

ころ、社内の女性管理職候補者研修に選出されたこと、そこから今年7月より本社でお仕事させていただく機会をもらったこと、すべてが現場監督という仕事からつながりました。この新天地で更につなごうを増やし、これからも支えて下さる皆さまと共に仕事もプライベートもいきいきと楽しんでいきたいと思っています。



次は茨城県在住の菅野麻里さんです。  
お楽しみに！

タイムズくん

全国低層住宅労務安全協議会

じゅうたく小町

ホームページ

www.j-komachi.com/

